



三鷹中央通信



三鷹中央病院は、平成19年2月に日本医療機能評価機構Ver5の認定を受けました。

2013年 Vol.16

あんしん

2013
冬号



新年のご挨拶

三鷹中央病院 副院長
長嶋 吉郎

新年明けましておめでとうございます。

私が三鷹中央病院に来たのが、昭和62年1月4日でしたので、昨年で26年が経過しました。27年目に入り、年は取りましたが、また新たな気持ちで頑張りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。もうすぐあの東日本大震災、それによる東京電力福島第一原子力発電所の事故から丸2年を迎えるとしています。未だ行方不明の方が2500人を超える震災ガレキの処理、放射性廃棄物の処分、原発事故周辺地域の除染などの問題も遅々として進んでいない事が、新聞・テレビなどで毎日報道されています。私個人としては、政党的な枠を越え、被災地の復興に向かってくれるものと期待していました。日本ならできるとも思っていましたが、結局は昨年11月に衆議院解散、12月に総選挙となり、民主党から自由民主党へ政権は移譲されました。が、どの党が政権を取っても被災地の復興はなかなか難しそうです。他にも長びく不況、消費税増税の問題、原子力発電所再稼働をめぐる問題など課題は山積みであり、不安な年明けではあります。

さて、当院においても、平成23年9月5日より電子カルテの導入をスタートさせました。電子カルテの導入は、①予約制にして、待ち時間の短縮を図る、②迅速な会計ができる、③過去の検査や投薬の内容を素早く検索する事ができる、④院内各部署の連携がスムーズになる、⑤医療の安全の向上等、患者さまへのサービスの向上に役立つものと考えております。当初は、こちらが電子カルテに慣れていないため、却つて時間がかかり、患者さまにご迷惑をお掛けしましたが、1年以上経過し、かなりスマートに診療できる事が多くなって来ていると思います。その反面、予約無しの患者さまには、長くお待たせしてしまっております。初診以外の方は、できるだけ予約されることをお勧めします（予約の変更は電話でもできます）。

これからも地域の皆様に信頼される病院であり続けるためにも、患者の皆様が当院に対して、何かお気付きの点が有りましたら遠慮なく指摘して頂ければと思います。最後に皆様にとつて良い1年になりますようお祈り申し上げます。

三鷹中央病院

防災訓練を行いました



平成24年10月16日、三鷹中央病院において消防署立ち会いの下、多摩直下型地震を想定した防災訓練を行いました。今回の訓練は全部署を対象とし、地震発生から、各部署の被害状況報告、消火器・消火栓を使用した消火訓練、避難訓練、さらには今回初めてとなるトリアージ訓練を含む総合訓練でした。

限られた時間の中で、広範囲の内容をどこまでこなせるのかという不安はありました。が、いざ訓練が始まつてみると、各部署とも迅速に且つ円滑に進行していくことができました。通常業務中の訓練にも拘わらず、多くの職員が参加し、またトリアージ訓練に医師も参加し有意義な訓練になりました。

23年には、東北地方太平洋沖地震があり、各地に甚大な被害をもたらしました。私たちも他人事ではなく、「備えあれば憂いなし」という精神を持ち、いつ何が起こつても、適切な対処ができるよう日々の取り組みが大切だと考えています。今後も必要に応じて防災計画を見直し、定期的に防災訓練を行い、防災への意識を常日頃から高めていきたいと思います。



レクリエーションの充実を目指し

これまで、老人保健施設では、「医療現場」と同じ視点で考えられた設備・仕様が、多く採用されていました。決められた事をただ日々と毎日を過ごしていく中で、楽しみはあるのでしょうか。そこには「生活する」という視点が不足していたように思われます。しかし、これからは要介護者を「患者」ではなく「生活者」ととらえ、者が自ら動きやすい環境を創っていくことが大切と考えられます。

そこで、心豊かで充実した生活を送る

ためには、レクリエーションは欠かせないもので。多くの社会人はそれぞれに趣味や楽しみを持ち、休暇には仕事を離れて自分のための時間を過ごします。私たちは何気ない日常のなかで、仕事をしてご近所付き合いや自治会など、話題満載の生活を送っています。どちらかというと煩わしいと思いつつ関わっている事も少なくないです



「調布飛行場」格納庫見学にて
飛行機の離陸を見る

当センターでは、充実したレクリエーションの時間を持つことで、めりはりのある生活を保ち、気分転換や内面的な豊かさの向上を図つていきたいと思っています。ご利用者の気持ち：職員の想い：介護保険制度：大勢の方にご利用頂いている事業である責任：色々な背景がありますが、今後も豊かな生活が送れるようお手伝いさせて頂きたいと思います。



「調布飛行場」格納庫内展示飛行機



「ちゃんちゃん焼き作り」

クッキングクラブでは、ご利用者とおやつ作りや、各フロアで昼食作りをします。麻痺のある方でも包丁を片手にクッキング。仕込み、調理、味見とそれぞれに得意分野があるようですが、久しぶりの料理の感覚に普段見られない笑顔や表情が見られます。今後も生活リハビリとしてのクラブ活動を通しながら、充実した生活が送れるようお手伝いしてまいりたいと思います。

◎三鷹中央病院

住所: 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel: 0422-44-6161 (代) Fax: 0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科: 内科・循環器科・内分泌科・呼吸器科・外科・消化器科・肛門科・
脳神経外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・血液内科・
神経内科・乳腺外科・腫瘍内科・リハビリテーション科・放射線科・
麻酔科・人間ドック・内視鏡検査・特定検診・産業医受託

診療時間: 月~土曜日 / am9:00 ~ 12:00 pm2:00 ~ 5:30
日曜・祝日 / am9:00 ~ 12:00 (救急外来は24時間受付)

病床数: 122床 (一般病床)

その他: ふれあい診療所 Tel: 0422-79-1313
三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel: 0422-48-6031
武蔵野ふれあい訪問看護ステーション Tel: 0422-36-1601



◎三鷹中央リハケアセンター

住所: 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7

Tel: 0422-70-0700 (代) Fax: 0422-70-0701

☆心のこもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

ベッド数: 100床 (一般療養 100床)

4床室 / 19室 2床室 / 1室 個室 / 22室

施設設備: 機能訓練室 (207.00m²) 機械浴室 (男女別) 自立浴室

その他: 通所リハビリテーション (定員 60人) Tel: 0422-70-0700

訪問看護ステーション Tel: 0422-70-1055

居宅介護支援事業所 Tel: 0422-70-1066

◎ケアコート武蔵野

住所: 〒180-0023 東京都武蔵野市境南町5-10-7

Tel: 0422-39-0390 (代) Fax: 0422-39-0392

☆利用者の皆様にとっても、そして職員にとっても、
楽しく生きがいの持てる施設づくりを目指しています。

病床数: 80床 (一般病床)

事業内容: 特別養護老人ホーム 72床 (8ユニット)
短期入所生活介護 8床 (1ユニット)

特徴: ○全室個室のユニットケアを実施します。

○「安心」「安全」「快適」な空間と人を大切にした
サービスの提供に努めます。



ACCESS

三鷹中央病院

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ④「新小金井駅」行
- ④「武蔵境営業所」行
- ⑤「調布駅北口」行

『曙住宅・三鷹中央病院前』下車徒歩1分
○タクシー (1区間)

三鷹中央リハケアセンター

JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
- 『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

JR中央線 吉祥寺駅(南口)

- 小田急バス ⑧「調布駅北口」行
- 京王線 仙川駅(北口)

○小田急バス ⑧「三鷹駅」行
『三鷹農協前』下車徒歩1分

ケアコート武蔵野

JR中央線 武蔵境駅(南口)下車(徒歩15分)

- 小田急バス ③「狛江駅・狛江営業所」行
- ④「吉祥寺駅」行

『井口新田』下車徒歩1分

